

令和5年度事業計画

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

法人名：一般社団法人 SAVE OUR BEAUTIFUL OCEAN

支出		金額(円)	事業費全体の内の割合(自動計算)
事業番号	事業内容		
1	神奈川県”都市型”ホットスポット調査	1,419,000	3%
2	企業タイアップ PROGGING	1,490,000	3%
3	FMヨコハマ”SAVE&EAT”×『るるぶ』タイアップ	3,603,600	7%
4	神奈川県”海岸エリア”ホットスポット調査	1,419,000	3%
5	海洋環境教育コンテンツ制作・出張授業	1,918,400	4%
6	”海岸エリア”ホットスポットの清掃活動	483,630	1%
7	調査:逗子葉山海岸(海)	1,144,000	2%
8	調査:逗子葉山海岸(川)	1,144,000	2%
9	逗子鎌倉海岸毎日清掃	2,017,400	4%
10	逗子海岸映画祭	1,344,200	2%
11	七夕まつり	1,210,000	2%
12	ハワイアンイベント	1,111,000	2%
13	海ごみゼロウィークを中心とした県内での清掃活動(江の島シーキャンドル)	2,799,770	5%
14	幕張メッセどきどきフリマーケット 2023「3R」展開	6,113,500	11%
15	拾い箱	3,327,500	6%
16	ビーチプラマネー「JAPAN BEACH GAMES FESTIVAL」	1,307,200	2%
17	スクラジ	1,722,300	3%
18	千葉県まるごとごみ拾い～プラスチック再生商品化	4,623,500	9%
19	コラボ商品	2,332,000	4%
20	WEB・SNS 運営(神奈川)	1,860,000	3%
21	WEB・SNS 運営(千葉)	1,155,000	2%
22	事業全体に係る事業広報及び事務局運営(神奈川)	5,660,000	10%
23	事業全体に係る事業広報及び事務局運営(千葉)	4,935,000	9%
	申請事業費総額	54,140,000	100%

年月日 (予定)	場所(都 道府県)	事業 番号	内容	備考
2023年 4月～5月	神奈川県	1	神奈川県”都市型”ホット スポット調査	神奈川県横浜市の中心に位置し、ごみが広域に捨てられている場所が横浜駅西口周辺というのは県民、市民の衆目の一致するところ。 今年はこのスポットに着目し、上記自治体協力のもと、学生、市民等を巻き込み横浜エリアに関するポイ捨て問題の実態を調査。ホットスポットやごみの種類を明らかにし、データ収集を行う。
2023年 4月～9月 /『るるぶ』 2023年 10～11月	神奈川県	3	FMヨコハマ”SAVE & EAT”×『るるぶ』タイア ップ	環境問題に積極的な店舗を紹介し応援する番組、FMヨコハマ「SAVE&EAT」。 今年、協力店舗数を300店舗から400店舗へと増やすとともに、さらに観光情報誌『るるぶ』とタイアップし、発信力を強化。一冊まるごと神奈川特集の雑誌を出版。読者アンケートなどを実施し、かつ店頭に並ぶ雑誌で本活動を積極的に掲載、紹介する。
2023年 5月～11月	神奈川県	2	企業タイアップ PROGGING	横浜市西口から少し離れるが、「横浜」を代表するエリア、「みなとみらい」。今回は、同地区で地場ビールを醸造する地元企業とタイアップし、店舗がある地区の周辺で、ラジオリスナー、地元住民、企業関係者、自治体関係者などとPROGGINGを実施し、終了後タイアップ商品のビールで乾杯イベントを行う。
2023年 5月～9月	神奈川県	4	神奈川県”海岸エリア” ホットスポット調査	横浜市の主要エリアで、横浜港に近い横浜市本牧ふ頭エリア。 この地域もポイ捨てごみなどが比較的多い場所として知られる。この地域がなぜ他のエリアよりもごみが集積しているのかを調査検証する。そして、その実体を把握したうえで状況を広く発信し、地域住民の清掃活動など削減アクションに繋げる。
2023年 9月～10月	神奈川県	6	”海岸エリア”ホットス ポットの清掃活動	上記で調査した横浜市本牧ふ頭エリアの調査の結果をFMヨコハマの番組、横浜市環境創造局に依頼するなどして発表。地域住民にご理解頂くとともに、調査結果を受けた上で住民にとどまらず他地域の有志、ラジオリスナーらとともに、現地の清掃活動を実施し、具体的な成果の獲得を図る。
2023年9月	神奈川県	13	海ごみゼロウィークを中 心とした県内での清掃活 動(江の島シーキャンド ル)	全国的に知名度の高い、神奈川県江ノ島周辺での印象的なイベントを構築。 現地からのラジオ公開放送はもちろん、ドローンを使用して上空からごみ状況を把握。その情報を基にSAP隊がごみを収集していくなど江ノ島らしい清掃イベントを実施。 ドローンで撮影した動画は協力企業、FMヨコハマ、湘南ビーチFMなどを通じて拡散、有効活用する。
2023年10月 ～2024年3月	神奈川県	5	海洋環境教育コンテンツ 制作・出張授業	今年で3年目となる学校での出張授業。今回は、授業の実施場所として、オンライン上や学校にとどまらず、神奈川県内の学校を超えた様々なイベント、例えば幼児、子ども向けイベントなどと連携して出張授業を実施する。
2023年 4月～6月	神奈川県	7	逗子葉山海岸(海)調査	葉山・逗子の海ごみがどこから来るのかを把握するために、逗子市葉山町の自治体や、学生を巻き込み、海と川と森の循環について実態調査を行う。ホットスポットやごみの種類を調査し、データ収集を行うことを目的とする。

2023年5月	神奈川県	8	逗子葉山海岸(川)調査	自治体や市民を巻き込み、海へ繋がっている川のごみの実態調査を実施してデータを収集。海に流れているごみの状況を把握すると共に、市民が参加しやすいアクションへ落とし込む一助とする。
2023年7月～8月	神奈川県	9	逗子鎌倉海岸毎日清掃	期間中、毎日ビーチクリーンを実施。(逗子海岸、鎌倉由比ガ浜海岸の2箇所)誰でも気軽に参加できる場を用意する。若者へのアピールとして、学生団体 SEAHOPE との協働でビーチクリーンや子供たちへの環境学習の場を作る。
2023年4月～5月	神奈川県	10	逗子海岸映画祭	海ごみについて考えるきっかけになるような映画を上映。映画祭の前にはビーチクリーンも実施し、その参加者には映画祭の割引券をプレゼント。また会場飲食ブースではリユースのカップやお皿を推奨。調査結果や経過等を周知啓発し、地元の課題をより自分ごと化してもらう。
2023年7月	神奈川県	11	平塚七夕まつり	海ごみ拾いブースを数か所設置し、まつり期間中に会場で清掃活動を展開。環境トークイベント、海洋写真展を開催。環境ミニ映画の上映等。
2023年10月	神奈川県	12	ハワイアンイベント	ハワイアンイベント(カフラホア)と連携し、ステージ上では海ごみ問題の啓蒙に関するトークイベントを実施。またごみ拾いイベントも実施し、海洋写真展示も開催。
2023年5月	千葉県	14	幕張メッセどきどきフリーマーケット 2023「3R」展開	3日間で12万人以上が来場する日本最大級のフリーイベントで「3R」を訴求・体感してもらう。プラスチックフリーのエコ素材食品容器で4万食のフードを提供して、プラスチックの「リデュース」を実感。また、海洋プラスチックごみを原料にしたアパレルやバッグ家具などの展示販売で「リユース」「リサイクル」商品を手に取りプラスチックごみ問題を実感すると共に、その実践を体感してもらう。
2023年7月～12月	千葉県	15	拾い箱	ごみ専用回収ボックス「拾い箱」を県内5ヶ所(サーフショップ等)に設置。 2年継続しているこの展開を定着させ、活動と認知を広げる。更に拾い箱の使用状況の調査を行い、実態と改善点、対策などの検討材料にしていく。
2023年9月 又は 10月	千葉県	16	ビーチプラマナー「JAPAN BEACH GAMES FESTIVAL」	ビーチスポーツイベント「JAPAN BEACH GAMES FESTIVAL」の会場で、 ビーチスポーツ選手による「海ごみ講座」を行い、また参加者には会場内限定 で「ビーチプラマナー」を探そう!という企画で、プラスチックごみを拾い、それを 会場内でドリンクやフードと交換できる通貨として使用してもらう。所謂ビーチグラスのビーチマナーではなくプラスチックごみが対象の「ビーチプラマナー」としてマイクロプラスチックに関して学びながら、楽しくプラゴミ拾いをしてもらう。
2023年9月～10月	千葉県	17	スクラジ	千葉県内の小学校・中学校・高校を対象に、給食・昼食時間の黙食の際の 校内放送を bayfmDJ によるミニ番組が担当し、海洋ごみ問題をわかりやすく 伝えていくことで、実際に近未来で自分事になる10代への周知とアクションに つなげていく。10代・学生に影響のあるDJやタレント

				を起用することで 中々伝わりにくい若年層の関心を高めていくことができる。
2023年10月 又は 11月	千葉県	18	千葉県まるごとごみ拾い ～プラスチック再生商品 化	千葉県内約20ヶ所(予定)での同時清掃活動を実施。またその告知&参加促進 の特別番組も放送。さらに集まったごみからプラスチック ごみを分別し、それを 再生リサイクル業者の協力で再生プラスチック商品(コー スター等)を作成。 できた商品を販売、提携店舗での活用などで、プラスチ ックごみのリサイクル・ アップサイクル意識を広めていく。
2023年5月 ～2024年3月	神奈川 ・千葉県	19	商品開発企画	コラボ商品として神奈川県・千葉県産のモノやそれぞ れの県内の企業とのタイアップで、CFB ロゴが目立つよう な商品パッケージを企画し、CFB の周知につなげてい く。特に話題性のある商品や流通量が多いもなど、拡散 を狙っていく。